

第5回

'94選抜女子駅伝 北九州大会

- 期 日 / 1994年1月23日 (日)
- コース / 小倉北区・北九州市役所前ー
八幡西区・北九州プリンスホテル
折り返し 32.8km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

順位

一般・大学の部

1	天満屋(岡山)	1° 47'22"
2	ニコニコドー(熊本)	1° 47'31"
3	沖電気宮崎(宮崎)	1° 47'58"
4	日本生命(大阪)	1° 49'20"
5	九電工(福岡)	1° 49'54"
6	富士銀行(東京)	1° 50'41"
7	鐘紡(山口)	1° 50'45"
8	ダイイチ(広島)	1° 52'25"
9	ベスト電器(福岡)	1° 53'00"
10	TOTO(福岡)	1° 53'28"
11	大連市(中国)	1° 55'51"
12	NEC九州(熊本)	1° 56'25"
13	大分選抜(大分)	1° 56'34"
14	九州女子大学(福岡)	1° 57'39"
15	トキハ(大分)	1° 58'56"
16	福岡教育大学(福岡)	2° 04'03"

※スズキ(静岡) 参考記録

区間賞

第1区(4.5km)	田中 千絵(九電工)	13'40"
第2区(5.9km)	川崎麻衣子(天満屋)	19'30"
第3区(5.1km)	佐藤真奈美(天満屋)	17'43"
第4区(5.9km)	岡本 幸子(沖電気宮崎)	★19'09"
第5区(11.4km)	王 明霞(ニコニコドー)	★35'29"

高校の部

1	熊本市立商業(熊本)	1° 49'10"
2	筑紫女学園(福岡)	1° 49'48"
3	熊本信愛女学院(熊本)	1° 50'38"
4	諫早(長崎)	1° 51'01"
5	西京(山口)	1° 51'10"
6	豊見城南(沖縄)	1° 51'20"
7	九州国際大付(福岡)	1° 52'11"
8	鹿島実業(佐賀)	1° 53'01"
9	鳴門(徳島)	1° 53'48"
10	鈴峯女子(広島)	1° 54'10"
11	神村学園(鹿児島)	1° 54'30"
12	宮崎東(宮崎)	1° 54'48"
13	山田(高知)	1° 54'49"
14	柳川(福岡)	1° 56'00"
15	北九州市選抜(福岡)	1° 56'59"
16	由良育英(鳥取)	1° 58'01"
17	就実(岡山)	1° 58'04"
18	明善(香川)	1° 58'49"
19	松江第一(島根)	1° 59'09"

区間賞

第1区(4.5km)	萩永佳奈子(熊本市立商)	13'38"
第2区(5.9km)	田中 尚子(鹿島実)	19'40"
第3区(5.1km)	上妻 知美(熊本市立商)	17'42"
第4区(5.9km)	清水 未央(筑紫女学園)	★19'35"
第5区(4.9km)	桑原 千春(熊本市立商)	★16'09"
第6区(6.5km)	和田 典子(熊本市立商)	★20'18"

★は区間新



初優勝のゴールテープを切る天満屋・山口衛里

一般・大学の部

創部2年目の天満屋が初優勝 ニコニコドーの猛追かわし

10mを超える強風と雪が舞う悪コンディションの中、創部2年目の天満屋がニコニコドーの猛追をかわし、初優勝を飾った。

3区までは正面からの強風で遅いペース。1区はラストで九電工の田中千絵が、日本生命の村田史をかわして区間賞。3位以下は鐘紡、富士銀行、ニコニコドーと続き、天満屋は先頭から100m差の6位。

2区で天満屋の川崎麻衣子が高校生を含む9人抜きの快走。3.6km地点でトップに立ち、タスキ渡しでは2位に50m以上の差をつけた。3区でも佐藤真奈美が区間1位で差を広げ、4区の小松ゆかりも区間2位。独走態勢を築いた。

長丁場の最終区で追い上げたのはニコニコドー。トップから400m以上遅れた4位でスタートした王明霞が35分29秒の区間新記録で激しく迫ったが、天満屋の山口衛里が約50m、9秒差で逃げ切った。

3位には新人が健闘した沖電気宮崎。北九州市の友好都市、中国の大連市は11位に終わった。

佐々木精一郎・天満屋監督 「みんなで勝ち取った優勝。表彰台の一番上に立てた喜びを忘れないで欲しい」
川崎麻衣子・天満屋2区 「風邪で熱があったけれど、少しでも貯金したかった」

山口衛里・天満屋5区 「貯金を全部使い果たしちゃった。でも必死で粘った。(王明霞選手の)足音が聞こえてきたから……」

高校の部

都大路2位の熊本市立商が初優勝 筑紫女学園の4連覇阻む

各区间で目まぐるしく順位が入れ替わる激戦を、前年末の全国高校駅伝で準優勝した熊本市立商が制し、初優勝を飾った。4区間で区間新2つを含む区間賞を奪い、筑紫女学園の4連覇を阻んだ。

1区は熊本市立商の萩永佳奈子がトップ。実業団、大学のランナーも抑える見事な快走だった。2区では熊本市立商が7位に後退。代わって首位に熊本信愛女学院、2位に鹿島実が躍進した。

3区は熊本信愛女学院が首位をキープし、西京、熊本市立商が続く。4区に入り、西京がトップに。2位は熊本信愛女学院、2区の8位から追い上げた筑紫女学園が3位の好位置につけた。

5、6区を残して、首位から4位までわずか33秒差。このデッドヒートを抜け出したのが熊本市立商。5区の桑原千春が区間新で2位に。最終6区は和田典子が首位に立ち、区間最高もマーク。念願の優勝テープを切った。

2位は筑紫女学園、3位は熊本信愛女学院。5位に終わったが、4、5区で首位に立った西京の健闘が光った。

志水貢一・熊本市立商監督 「一人だけが頑張った末の優勝なら不満が残るが、全員が持っている力を出してくれた。『これぞ駅伝』というところを見せてくれた」

和田典子・熊本市立商6区 「1位が呼べばすぐ届く所にいたから楽でした」



初優勝を飾った熊本市立商のアンカー・和田典子